

### 3) 佐賀県特別栽培農産物認証申請書等(記入例入り)

1 様式第1号) 整理番号 ー  
提出書類一式を複写して持っておくと、その後の実績整理がスムーズにできます

## 佐賀県特別栽培農産物認証申請書

平成30年 5月 10日

佐賀県知事 様 (佐賀中部農) 2 押印忘れや修正のために、申請書を持参される時には、印鑑を持参願います

3 申請者 氏名(団体名・代表者氏名)  
(ふりがな) やまだとくさいまいぶかいぶかいちよう やまだ たろう  
山田特栽培米部会 部会長 山田太郎 印  
住所 佐賀市城内1丁目1番1号 JA〇〇農産課内

4 電話番号 0952-12-3456  
5 昭和49年 7月 5日  
6 連絡が取れやすい番号を記入します

佐賀県特別栽培農産物認証要綱第6条の規定に準じ、個人申請の場合は、個人の生年月日、団体申請の場合は代表者の生年月日を記入します

6 農産物の品目名と作型等を記入します(米・麦・大豆では、品種名を括弧書きします)

対象農産物		特別栽培農産物の 分類名略号 (いずれかに○印)
品目名	作型等	
米	普通期(ヒビカリ)	A・B・C・ <b>○D</b>

※ 米、麦、大豆の場合は、作型等の欄に品種名も記入する

2 生産管理責任者 7 連絡が取れやすい番号を記入します

所属	JA〇〇城内
氏名	川田 次郎
電話番号	0952-12-3457
生産管理責任者講習会受講の有無	<b>○有</b> (平成 29年) ・ 無(次回講習会を受講予定)

8 継続申請の方のみ記入します。申請年度と現地確認の年度が異なる場合もあります。

3 過去の申請履歴(同一品目、同一作型で過去に申請の実績がある方はご記入お願いします)

直近の申請年度	平成29年	直近の現地確認を受けた時期	平成29年 9月
---------	-------	---------------	----------

4 添付書類

- (1) 栽培管理計画書...別紙1
- (2) 佐賀県特別栽培農産物認証申請・認証ほ場一覧...別紙2
- (3) 生産ほ場位置図...別紙3(認証申請時の提出省略可)
- (4) 認証された農産物等の情報に係る情報提供の確認書...別紙8
- (5) 出荷・販売計画書...別紙様式第15号
- (6) 使用する予定の肥料農薬等の成分がわかるパンフレット等の資料(普通肥料および化学合成農薬については省略可)

9 裏面も記入します (裏面につづく)

※ 申請に当たっては、下の誓約を確認の上、□にレを記入すること。

県では、行政事務全般から暴力団等を排除するため、申請者に暴力団等でない旨の誓約をお願いしています。なお、内容確認のために佐賀県警察本部へ照会を行う場合があります。おって、この様式に記載された個人情報、佐賀県特別栽培農産物認証制度の目的を達成するため及び誓約事項の確認のために使用します。

また、確認情報は貴殿が県と行う他の契約等における身分確認に利用する場合があります。

10

## 誓 約

誓約を確認のうえ、記入します

私は、このたびの申請を行うに当たり、次の事項について誓約します。



自己又は自社等の役員等が、次のいずれにも該当する者ではありません。また、次のイからキに掲げる者が、その経営に実質的に関与している法人その他の団体又は個人ではありません。

- ア 暴力団(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。)
- イ 暴力団員(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。)
- ウ 暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者
- エ 自己、自社等若しくは第三者の不正な利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって暴力団又は暴力団員を利用している者
- オ 暴力団又は暴力団員に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等直接的又は積極的に暴力団の維持運営に協力し、又は関与している者
- カ 暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者
- キ 暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれらを利用している者

別紙1

生産者名	品目名
------	-----

1 認証申請時は、記入不要です

2 生産管理責任者は、氏名を記入し、栽培管理計画書が適正かどうか確認し、押印します

栽培管理計画書

3 生産管理責任者は、管理状況や収穫状況を確認し、確認した日付を記入していきます(状況確認時の押印は不要)

生産管理責任者氏名		川田 次郎	
の生産管理責任者	栽培管理計画書の確認	平成30年 5月 1日	栽培管理実績書の確認
	管理状況確認 1回目	年 月 日	収穫状況確認1回目
	管理状況確認 2回目	年 月 日	収穫状況確認2回目
		年 月 日	年 月 日

4 その他、何か確認事項があった場合に記入します

1 化学肥料、化学合成農薬を削減するための技術

麦わらのすき込み、温湯による種子消毒、機械による除草

5 「化学肥料、化学合成農薬を削減するための技術」と「作業名」、「使用資材」の欄の整合がとれるように記入します

6 栽培開始から、収穫終了まで、対象農産物の施肥、防除も含む主な作業を記入します(計画は上段に記入します)

作業、使用資材等が違う場合はほ場毎に作成してください。記入してください

生産ほ場番号:	10-2	使 用		7 計画は上段に記入します		8 種子消毒剤や畦畔除草剤等がない場合は、代わりに技術を記入します		
作業名等 (栽培期間の主な作業)	土 づ く り		施 肥		雑 草 ・ 病 害 虫 防 除 等			
作業名	年月日	名称	使用量 (kg/10a)	うち化学由来の N成分量 (kg/10a)	名称	化学合成農薬 の成分回数 (回)		
種子消毒	H30.5.15				温湯消毒	0		
播種	5.2	9 購入苗の場合でも、使用予定の資材を記入します						
土づくり	5.30	麦わらのすき込み	400	0				
畦畔除草	6.5				刈払機で除草	0		
元肥	6.10	グリーン青機50 (全N8%、化成由来N4.5%)	40	1			10 薬剤名は、正確に記入します(同じ呼び名でも、登録内容が異なる場合があります)	
移植 (箱施肥)	6.20	11 行が不足して1枚に書ききれない場合は、別葉に記入しますが、パソコンで作成される方は行を追加しても構いません				グイゼットプリンス粒剤6	2	
本田除草	6.28				ヤイバ1kg粒剤	2		
中干し	7.20							
追肥	8.13	BB464	10	1.4				
合計		(使用量基準: 5.5 kg/10a)			(使用回数基準: 11 回)			



別紙1

整理番号

(農林事務所使用欄)

2 作業及び使用資材名は「丸トマト(促成)」での続きを想定した記入例  
業、使用資材等が違う場合はほ場毎に作成してください。)

生産ほ場番号:		使 用 資 材				
1		計画は上段に記入します(下段は実績欄)			・ 施 肥	雑 草 ・ 病 害 虫 防 除 等
作 業 名	年 月 日	名 称	使用量 (kg/10a)	うち化学由来の N成分量 (kg/10a)	名 称	化学合成農薬 の成分回数 (回)
追肥	平成30年 9月上旬	〇〇液肥6-8-8	1	0.04		
追肥	9月上旬	ジャットPK(粒)	35	0		
本圃の 防除	10月下旬				コルト顆粒水和剤	1
追肥	11月中旬	〇〇有機液肥2号	6	0.37		
追肥	11月下旬	〇〇有機液肥2号	8	0.5		
本圃の 防除	12月中旬				〇〇ベネビアOD ダイアメリットDF	3
追肥	12月中旬	〇〇液肥2号	2	0.1		
追肥	1月中旬	〇〇アミノ酸入り液肥2号	1	0.01		
本圃の 防除	1月下旬				パンチョTF顆粒水和剤 コルト顆粒水和剤	3
本圃の 防除	4月中旬				ファンベル顆粒水和剤 ディアナSC	3
収穫終了	6月中旬					
合計		(使用量基準: 19.5 kg/10a)		8		24

「丸トマト(促成)」での続きを想定した記入例

1

計画は上段に記入します(下段は実績欄)

行が不足して1枚に書ききれない場合は、別葉に記入しますが、パソコンで作成される方は行を追加しても構いません

2

合計が基準以内か、確認します

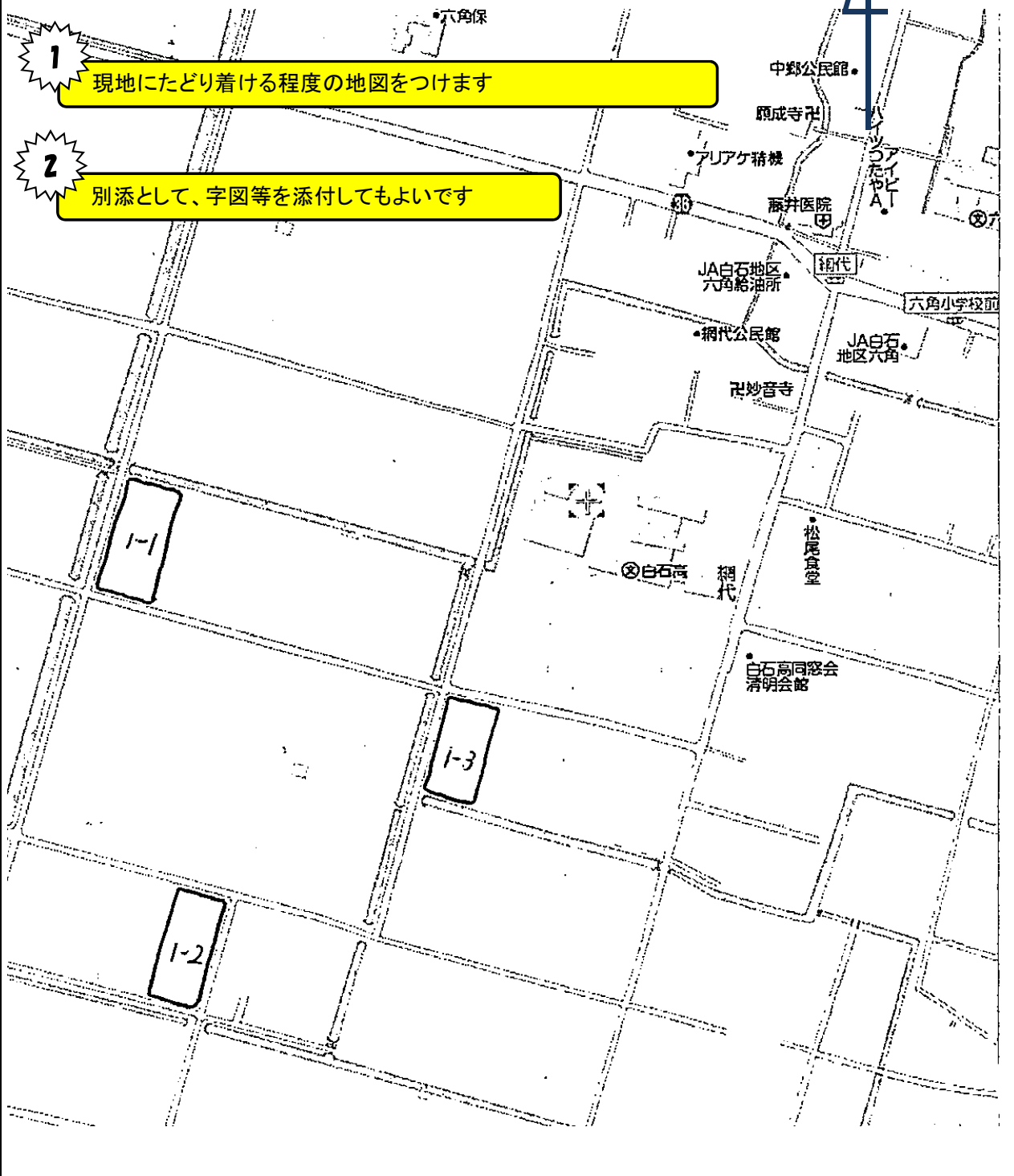
(使用回数基準: 30 回)



申請時省略可

### 生産ほ場位置図

生産ほ場番号	1-1~3
生産者名	山田 太郎



1 現地にたどり着ける程度の地図をつけます

2 別添として、字図等を添付してもよいです


注) 複数のほ場をまとめて記載する場合は、各々の地番がわかるようにする。

1 様式第2号) 整理番号 ー  
 提出書類一式を複写して持っておくと、その後の実績整理がスムーズにできます

2 佐賀県特別栽培農産物(精米・仕上げ茶)認証申請書  
 2カ年分を認証申請する場合は、それぞれの年産ごとに認証申請書を作成して申請します  
 平成30年 5月 10日

佐賀県知事 様  
 (佐賀中部農林事務所長)  
 (園芸課長)

3 押印忘れや修正のために、申請書を持参される時には、印鑑を持参願います

申請者 氏名(団体名・代表者氏名)  
 (ふりがな) やまだしよくりようかぶしきかいしゃ やまだ たろう  
 山田食糧株式会社 代表取締役 山田太郎 

4 住所、団体名、役職名、代表者名は、通知郵送に使うので正確に記入します(ふりがなも記入します)

住所 佐賀市城内1丁目1番1号

5 連絡が取れやすい番号を記入します

電話番号 0952-12-3456

6 個人申請の場合は、個人の生年月日、団体申請の場合は代表者の生年月日を記入します

昭和49年 7月 5日

佐賀県 申請書、関係書類を添えて申請します。なお、認証を受けるに当たっては、佐賀県特別栽培農産物認証要綱及び同要領を遵守します。

記

1 申請農産物名  
 精米 ・  仕上げ茶 (いずれかに○印を付ける)

2 とう精施設又は製茶施設の所在地  
 住 所 佐賀市城内6丁目6番6号

7 連絡が取れやすい番号を記入します

8 とう精責任者又は製茶責任者  
 山田食糧株式会社 事業部  
 川田 次郎  
 電話番号 0952-12-3456

9 継続申請の方のみ記入します。申請年度と現地確認の年度が異なる場合があります。

4 過去の申請履歴(同一品目で過去に申請の実績がある方はご記入お願いします)  

直近の申請年度	平成29年	直近の現地確認を受けた時期	平成29年 8月
---------	-------	---------------	----------

- 5 添付書類
- (1) とう精計画書・・・別紙4、又は製茶計画書・・・別紙5
  - (2) 佐賀県特別栽培農産物(精米・仕上げ茶)認証申請・認証一覧・・・別紙
  - (3) 施設内の機械配置図及び原料・製品置場の見取図・・・別紙7
  - (4) 認証された農産物等の情報に係る情報提供の確認書・・・別紙8

10 裏面も記入します  
 (裏面につづく)



※ 申請に当たっては、下の誓約を確認の上、口にしを記入すること。

県では、行政事務全般から暴力団等を排除するため、申請者に暴力団等でない旨の誓約をお願いしています。なお、内容確認のために佐賀県警察本部へ照会を行う場合があります。おって、この様式に記載された個人情報、佐賀県特別栽培農産物認証制度の目的を達成するため及び誓約事項の確認のために使用します。

また、確認情報は貴殿が県と行う他の契約等における身分確認に利用する場合があります。

## 誓 約

11

誓約を確認のうえ、記入します

私は、このたびの申請を行うに当たり、次の事項について誓約します。

- 自己又は自社等の役員等が、次のいずれにも該当する者ではありません。また、次のイからキに掲げる者が、その経営に実質的に関与している法人その他の団体又は個人ではありません。
- ア 暴力団(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。)
- イ 暴力団員(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。)
- ウ 暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者
- エ 自己、自社等若しくは第三者の不正な利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって暴力団又は暴力団員を利用している者
- オ 暴力団又は暴力団員に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等直接的又は積極的に暴力団の維持運営に協力し、又は関与している者
- カ 暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者
- キ 暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれらを利用している者

1 (原料玄米の品種毎に記入)

とう精計画書は、原料玄米の品種毎に精米番号を付けて作成します

整理番号

2 原料玄米の年産を記入します

3 とう精責任者は、とう精計画を確認し、日付を記入して、押印します

平成30年産とう精計画書(兼実績書)

精米番号	1		川田 次郎	年	月	日
生産者名 (団体名)	4		山田持哉部会	平成30年	5月	1日
原料玄米	品種名	ヒノヒカリ		年	月	日
	分類名略号	A・B・C・D		年	月	日
	責任者の確認	とう精状況確認		年	月	日
	責任者の確認	とう精状況確認		年	月	日
	責任者の確認	とう精状況確認		年	月	日
	責任者の確認	とう精状況確認		年	月	日

4 とう精責任者は、とう精状況を承認し、確認した日付を記入していきます(状況確認時の押印は不要)

5 計画は上段に記入します(下段は実績欄)

7 量目を記入します

1 とう精(上段計画、下段実績)

玄米	購入	とう精に使用する玄米購入量(kg)	とう精時期(年月~年月)	精米生産量(kg)	歩留(%)	精米生産数量の包装量目別内訳(認証マーク表示分)							
						量目: 10 kg	量目: 5 kg	量目: 2 kg	計	数量(個)	重量(kg)	数量(個)	重量(kg)
H30年10月~H31年10月	4,200		H30年10月~H31年10月	3,600	86	180	1,800	160	800	500	1,000	840	3,600

8 精米生産量と包装量目別精米生産数量の合計がどのように記入します

2 出荷、販売(上段計画、下段実績)

9 認証マーク使用数は、包装量目別の生産数量の合計と一致又は内数となるようにし、サイズごとに記入します

出荷販売先	スーパー山田	販売量	3,600 kg	認証マーク等の使用数	大: 840枚、中: 840枚、小: 840枚	枚
					大: 840枚、中: 840枚、小: 840枚	枚

別紙5(原料荒茶の生産者名毎に記入)

1 製茶計画書は、原料荒茶の生産者毎に仕上げ茶番号を付けて作成します

平成30年産製茶計画書(兼実績書)

2 原料荒茶の年産を記入します

3 製茶責任者は、製茶計画を確認し、日付を記入して、押印します

仕上げ茶番号	山田特裁部会		製茶責任者氏名	川田 波郎
原料荒茶	生産者名(団体名)	A · C ·	製茶計画確認	平成30年 1月 30日 印
	分類名略号	Ⓟ		

4 製茶責任者は、製茶状況を確認し、確認した日付を記入していきます(状況確認時の押印は不要)

の 確認

5 計画は上段に記入します(下段は実績欄)

1 製茶(上段計画、下段実績)

6 荒茶購入量と仕上げ茶生産量と歩留の数値があのように記入します

荒茶購入時期(年月~年月)	仕上げ茶に使用する荒茶購入量(kg)	製茶時期(年月~年月)	茶		仕上げ茶生産数量の包装量目別内訳(認証マーク表示分)		計					
			仕上げ茶生産量(kg)	歩留(%)	量目: 500g	量目: 100g		重量(kg)	重量(kg)	数量(個)	数量(個)	重量(kg)
H30年4月~H31年10月	600	H30年4月~H31年10月	480	80	600	300	1,800	180	2,400	480		

8 仕上げ茶生産量と包装量目別仕上げ茶生産数量の合計があのように記入します

9 認証マーク使用数は、包装量目別の生産数量の合計と一致又は内数となるようにし、サイズごとに記入します

出荷販売先	スーパー山田	販売量	480 kg	認証マーク等の使用数	大: 600 枚、中: 1800 枚、小: 1800 枚、包装資材印刷: 枚
					大: 枚、中: 枚、小: 枚、包装資材印刷: 枚

**1**

認証申請時は、記入不要です

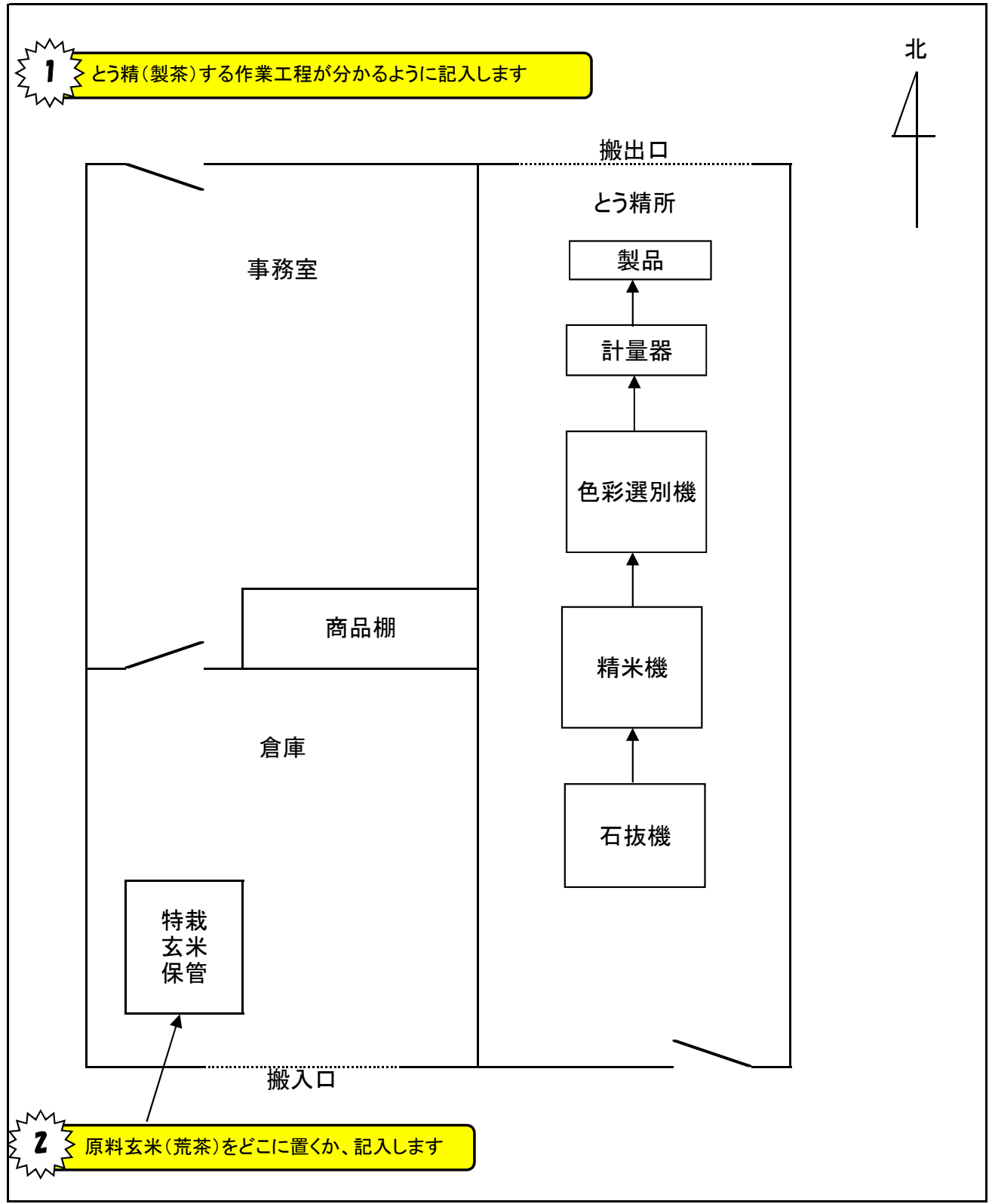
整理番号	—
認証番号	認— —
認証年月日	

(農林事務所使用欄)

**佐賀県特別栽培農産物(精米・仕上げ茶)認証申請・認証一覧**

申請者氏名 (団体名、代表者名)		山田食糧株式会社 代表取締役 山田太郎					
とう精(製茶)施設の所在地		佐賀市城内6丁目6番6号					
とう精(製茶)責任者氏名		川田 次郎					
精米(仕上げ茶)番号	玄米(荒茶)の生産者名(団体名)	特別栽培農産物の分類名略号	玄米(荒茶)の購入量(kg)	精米(仕上げ茶)の生産量(kg)	玄米の品種名(精米のみ)	年産	使用する認証マーク等の数量(枚)
1	山田特裁部会	D	4,200	3,600	ヒノヒカリ	28	840
計			4,200	3,600			840

### 施設内の機械配置図及び原料・製品置場の見取図



# 認証された農産物等に係る情報提供の確認書

平成30年 5月 10日

佐賀県知事 様  
(佐賀中部農林事務所長)  
(園芸課長)

申請者 氏名(団体名・代表者氏名)  
(ふりがな)

やまだとくさいまいぶかいぶかいちよう やまだ たろう  
山田特裁米部会 部会長 山田太郎 (印)

## 1. ホームページでの情報公開について

佐賀県では、認証を受けた特別栽培農産物をPRするため、認証者の氏名及び住所(市町まで)、農産物名、取組ほ場面積、認証区分などの情報をホームページに掲載しています

(1) ホームページに氏名及び住所(市町まで)、農産物名、取組ほ場面積、認証区分などの情報を掲載することについて(連絡先電話番号を除く)を掲載することについて(下記のどちらかに○をつけてください)

1 県ホームページに氏名や農産物名等(電話番号を除く)の掲載を希望される方は「希望する」に○をつけてください

希望する  希望しない

(2) ホームページに連絡先電話番号の情報を掲載(下記のどちらかに○をつけてください)

2 県ホームページに電話番号まで掲載を希望される方は「希望する」に○をつけてください

希望する  希望しない

(3) ホームページに連絡先電話番号の情報を掲載は求めないが、団体事務局等の他の連絡先の掲載を希望する場合は「希望する」に○をつけてください(下記のどちらかに○をつけてください)

3 県の生産管理責任者や団体事務局等の他の連絡先の掲載を希望する場合は「希望する」に○をつけてください ※必ず掲載することの了解を得てください

希望する  希望しない

連絡先氏名等	〇〇組合 農産部
連絡先電話番号	0952-12-9876

4 環境保全型農業直接支払交付金など、特別栽培を要件とする事業に取り組む場合は「同意する」に○をつけてください

## 2. 補助事業等に係る情報の照会について(とう精、表米を除く)

佐賀県では、国庫事業などの特別栽培の認証を要件とする事業が実施される場合において、事業実施に係る市町等の関係機関からの認証に関する情報の照会があった場合は、情報を提供することがあります。(下記のどちらかに○をつけてください)

同意する  同意しない

農産物編

佐賀県特別栽培農産物申請内容変更届出書

平成30年6月10日

佐賀県知事 様

(佐賀中部農林事務所長)

申請者 氏名(団体名・代表者氏名)

山田特裁部会

部長 山田 太郎



下記の農産物について、申請の内容を変更したので、佐賀県特別栽培農産物認証要綱第13規定に基づき、関係書類を添えて届出ます。

申請内容の変更は、現地確認前まで可能です  
なお、ほ場の追加、面積の追加、品種の変更は作付前まで可能です

1 変更する農産物名等

対象農産物		
品目名	作型等	特別栽培農産物の分類名略号
米	普通期 (ヒノヒカリ)	C

※ 米、麦、大豆の場合は、作型等の欄に品種名も記入する

精米の場合は、品目名の欄に精米と記入し、品種名を併記する

仕上げ茶の場合は、品目名の欄に仕上げ茶と記入する

変更前と変更後を記入します

3 変更内容に応じて、適宜記入します

2 変更の内容(変更点のみを整理する)

	作付面積(a)	特別栽培農産物の 分類名略号	(生産管理責任者)	(マーク使用量)
変更前	123.4	C	川田次郎	中100枚
変更後	567.8	D	川田三郎	中400枚

4 変更の理由を簡潔に記入します

ヒノヒカリを作付する圃場が増えたため

5 面積の増減で、認証マーク使用数量  
が変わる場合は、あわせて記入します

4 添付書類(変更に関連がある書類のみ添付する)

- (1) 栽培管理計画書...別紙1
- (2) 佐賀県特別栽培農産物認証申請・認証ほ場一覧...別紙2
- (3) 生産ほ場位置図...別紙3
- (4) とう精計画書...別紙4
- (5) 製茶計画書...別紙5
- (6) 佐賀県特別栽培農産物(精米・仕上げ茶)認証申請・認証一覧
- (7) 施設内の機械配置図及び原料・製品置場の見取図...別紙7
- (8) 認証された農産物等の情報に係る情報提供の確認書

6 特裁の分類を変更する場合に添付します

7 作付ほ場を変更する場合に添付します

8 情報提供の内容を変更する場合に添付します

整理番号	—
認証番号	認— —
認証年月日	

(農林事務所使用欄)

**1**

申請した時に複写したものを利用する等して、変更箇所を整理します

### 佐賀県特別栽培農産物認証申請・認証ほ場一覧

申請者氏名(団体名、代表者名)	山田特裁部会部会長 山田 太郎
生産管理責任者氏名	川田 次郎

生産ほ場番号	生産者名	生産者住所	面積(a)	ほ場所在地・地番
1-1	山田太郎	佐賀市城内1-1-1	10.5	佐賀市城内1-1-15
1-2	〃	〃	8.5	佐賀市城内2-1-10
1-3	〃	〃	35.0	佐賀市城内2-1-11
1-4	〃	〃	50.0	
2-1	滝田三郎	佐賀市城内3-1-1	10.0	
2-2	〃	〃	20.0	佐賀市城内2-1-14
<del>3-1-1</del>	<del>新田菅農組合 (新田太郎)</del>	<del>佐賀市城内5-1-1</del>	<del>25.0</del>	<del>佐賀市城内2-1-15</del>
<del>3-1-2</del>	<del>〃</del>	<del>〃</del>	<del>20.1</del>	<del>佐賀市城内2-1-16</del>
3-2-1	新田菅農組合 (中田太郎)	佐賀市城内6-1-1	25.1	佐賀市城内2-1-17
3-2-2	〃	〃	20.2	佐賀市城内2-1-18
3-2-3	〃	〃	20.3	佐賀市城内2-1-19
3-2-4	〃	〃	20.4	佐賀市城内2-1-20
4-1	〃	〃	〃	〃
5-1	〃	〃	〃	〃
5-2	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
10-1	〃	〃	〃	〃
10-2	〃	〃	〃	〃
計			554.9	
	生産者数合計 (団体申請のみ)	9人		

**2**  
途中で取り止めたほ場には、訂正線を書くなどして、整理します

**3**  
変更後の数値を記入します

※ 認証申請毎に別葉に記入すること  
 ※ 米、麦、大豆の場合は、品種毎に別葉に記入すること



精米・仕上げ茶編

佐賀県特別栽培農産物申請内容変更届出書

1

申請内容の変更は、現地確認前まで可能です

平成30年6月10日

佐賀県知事 様

(佐賀中部 農林事務所長)

申請者 氏名(団体名・代表者氏名)

山田特裁部会  
部会長 山田 太郎



下記の農産物について、申請の内容を変更したので、佐賀県特別栽培農産物認証要綱第9条の規定に基づき、関係書類を添えて届出ます。

記

1 変更する農産物名等

対象農産物		
品目名	作型等	特別栽培農産物の分類名略号
精米	—	—

※ 米、麦、大豆の場合は、作型等の欄に品種名も記入する  
精米の場合は、品目名の欄に精米と記入し、品種名を記入する  
仕上げ茶の場合は、品目名の欄に仕上げ茶と記入する

2

変更内容に応じて、適宜記入します

2 変更の内容(変更点のみを整理する)

	作付面積(a)	特別栽培農産物の 分類名略号	(精米番号)	(追加品種)
変更前	—	—	1	—
変更後	—	—	1、2	夢しずく

変更前と変更後を記入します

3 変更の理由

夢しずくを追加して精米するため	4	変更の理由を簡潔に記入します
-----------------	---	----------------

4 添付書類(変更に関連がある書類のみ添付する)

- (1)栽培管理計画書・・・別紙1
- (2)佐賀県特別栽培農産物認証申請・認証ほ場一覧・・・別紙2
- (3)生産ほ場位置図・・・別紙3
- (4)とう精計画書・・・別紙4
- (5)製茶計画書・・・別紙5
- (6)佐賀県特別栽培農産物(精米・仕上げ茶)認証申請・認証一覧・・・別紙6
- (7)施設内の機械配置図及び原料・製品置場の見取図・・・別紙7
- (8)認証された農産物等の情報に係る情報提供の確認書

5

精米(製茶)する原料となる玄米(荒茶)を追加する場合に、添付します

## 佐賀県特別栽培農産物申請取下届出書

1

認証後の全部取り下げの場合は、実績報告書を提出します(取下届出書は不要です)

平成30年9月15日

佐賀県知事 様  
(佐賀中部 農林事務所長)

申請者 氏名(団体名・代表者氏名)

山田特裁部会  
部会長 山田 太郎

印

下記の農産物について、佐賀県特別栽培農産物認証要綱第10条の規定に基づき、認証申請の(全部・一部)取り下げを届出ます。

### 記

#### 1. 取り下げ内容

対象農産物			取下の面積(a)	認証番号 (認証前は記入不要)
品目名	作型等	特別栽培農産物の分類名略号		
米	普通期 (ヒノヒカリ)	A	68.0	
米	普通期 (夢しずく)	D	86.0	
2 複数のものについて、同時に届出することができます				

※ 米、麦、大豆の場合は、作型等の欄に品種名も記入する

#### 2. 取り下げ理由

化学合成農薬の使用回数が認証基準を超えたため

3

取り下げの理由を簡潔に記入します

4

ほ場一覧を整理する際に、取り下げるほ場の番号は、欠番にして整理します

#### 3. 添付書類

(1)佐賀県特別栽培農産物認証申請・認証ほ場一覧…別紙2

5

全部取り下げの場合は、別紙2の添付は不要です

# 佐賀県特別栽培農産物(精米・仕上げ茶)申請取下届出書

1

認証後の全部取り下げの場合は、実績報告書を提出します(取下届出書は不要です)

平成30年9月15日

佐賀県知事 様  
(佐賀中部 農林事務所長)  
(園芸課長)

申請者 氏名(団体名・代表者氏名)

山田食糧株式会社  
代表取締役 山田 太郎 

下記の農産物について、佐賀県特別栽培農産物認証要綱第10条の規定に基づき、認証申請の(全部・一部)取り下げを届出ます。

## 記

### 1. 取り下げ内容

原料玄米または荒茶			生産者名	品目名	特別栽培農産物の分類名略号	認証番号 (認証前は記入不要)
山田特裁部会			山田特裁部会	ヒノヒカリ	C	
山田特裁部会			山田特裁部会	夢しずく	A	

2

複数のものについて、同時に届出することができます

※ 精米の場合は品目名の欄に精米と記入し、品種名も記入する

※ 仕上げ茶の場合は品目名の欄に仕上げ茶と記入する

### 2. 取り下げ理由

原料玄米として予定していたものが、認証を受けられなかったため。

3

取り下げの理由を簡潔に記入します

### 3. 添付書類

(1) 佐賀県特別栽培農産物(精米・仕上げ茶)認証申請・認証一覧・・・別紙6

(別紙様式第6号)

## 佐賀県特別栽培農産物認証に係る現地確認審査連絡票

1

収穫(とう精または製茶)のおおむね1ヶ月前までに、農林事務所に提出してください  
連絡はFAXでも構いません

月 5 日

佐賀中部 農林事務所長 様

申請者 氏名(団体名・代表者氏名)

山田特栽培部会  
部会長 山田 太郎

佐賀県特別栽培農産物認証要領第8条の規定に基づく現地確認審査を下記のとおり希望しますので、連絡します。

記

対象農産物		現地確認の希望		当日の立会者		収穫(とう精または製茶)開始予定日
品目名	作型等	希望時期	集合場所	氏名	連絡先電話番号	
米	普通期 (ヒノヒカリ)	9月15日～ 9月25日の間	J A ○ ○ 城内支所	山田太郎	090- **-****	H30年 10月5日
		月 日～				
2 農林事務所で調整させていただきますので、10日程度の期間を記入します						
		月 日～ 月 日の間				
3 連絡が取れやすい番号を記入します できれば、携帯電話がよいです						

※ 米、麦、大豆の場合は作型等の欄に品種名も記入する

※ 収穫(とう精または製茶)開始予定のおおむね1ヶ月前までに提出してください

## 自己点検結果

申請者氏名(団体名、代表者名)		
対象農産物	品目名	
	作型等	

	内容	
1	栽培管理計画書の下段には、使用した肥料・農薬名や、施肥量・成分回数の実績を記入・整理していますか？	<input type="checkbox"/>
2	計画にあげていなかった肥料・農薬を使った場合、成分が分かる資料(カタログ・空容器など)がありますか？	<input type="checkbox"/>
3	購入苗の場合は、は種から購入時までの肥料・農薬の散布履歴が分かる書類はありますか？	<input type="checkbox"/>
4	生産管理責任者に、栽培管理の記録状況を確認してもらいましたか？	<input type="checkbox"/>
5	肥料・農薬の購入量や使用量を、資材の購入・使用簿などに記録していますか？	<input type="checkbox"/>
6	肥料・農薬の購入量や使用量を、資材の購入・使用簿などに記録していない場合、資材の購入伝票はありますか？	<input type="checkbox"/>
7	ほ場に、特別栽培農産物を生産していることがわかる看板を立てていますか？	<input type="checkbox"/>
8	出荷状況や認証シール使用状況を記録または、記録する準備をしていますか？	<input type="checkbox"/>

**できるだけ全ての項目に☑が入るように準備していただくと、  
現地確認が短時間で済みます！**

(別紙様式第8号)

1

# 佐賀県特別栽培農産物認証実績報告書

農産物の収穫後の実績報告は、収穫終了後30日以内に提出します

平成30年11月10日

佐賀県

(佐賀中部 農林事務所長)

認証者 氏名(団体名・代表者氏名)

山田特裁部会

部会長 山田 太郎



佐賀県特別栽培農産物の認証を受けた下記の農産物について、佐賀県特別栽培農産物認証要綱第16条の規定に基づき、別紙のとおり実績を報告します。

## 1 認証を受けた農産物

対象農産物			認証番号
品目名	作型等	特別栽培農産物の分類名略号	
米	普通期 (ヒノヒカリ)	A	認-18佐-0001
米	普通期 (夢しずく)	C	認-18佐-0002
			認 - -
			認 - -
			認 - -
			認 - -
			認 - -

2

複数の実績報告書を一括して報告することができます

※ 米、麦、大豆の場合は、作型等の欄に品種名も記入

## 2 生産管理責任者

氏名	川田 次郎
----	-------

3

団体申請において、生産者毎に栽培管理状況が異なる場合、栽培管理実績書は、栽培管理状況毎に別葉に作成します

## 3 添付書類

(1) 栽培管理実績書...別紙1

(2) 佐賀県特別栽培農産物認証申請・認証ほ場一覧...別紙2

別紙1

生産者名	品目名	申請した時に複写したものを利用する等して、実績を整理します (農林事務所使用欄)
山田 太郎	米 (ヒノヒカリ)	氏名、品目を記入します

### 栽培管理計画書 (兼実績書)

生産管理責任者氏名		川田 次郎	
の 生 産 管 理 責 任 者	栽培管理計画書の確認	平成30年 5月 1日	川田 次郎
	管理状況確認 1回目	平成30年 6月 20日	川田 次郎
	管理状況確認 2回目	平成30年 8月 20日	川田 次郎
	管理状況確認 3回目	平成30年 9月 12日	川田 次郎
	栽培管理実績書の確認	平成30年 11月 5日	川田 次郎
	収穫状況確認1回目	平成30年 10月 10日	
	収穫状況確認2回目	平成30年 10月 13日	
		年 月 日	

1 化学肥料、化学合成農薬を削減するための技術

麦わらのすき込み、温湯による種子消毒、機械による除草

生産管理責任者は、確認項目について確認した日付を記入します。実績を確認後、押印します

2 作業及び使用資材(上段計画、下段実績)(実績書の場合、ほ場単位で作業、使用資材等が違う場合はほ場毎に作成してください。)  
資材名は略称ではなく、ラベル等に記載されている正式な商品名称等で記入してください。

生産ほ場番号:	1-1~ 10-2	使 用 資 材			
作 業 名 等 (栽培期間の主な作業)	土 づ く り ・ 施				
5 実績は下段に記入します(上段は計画欄)		使用量 (kg/10a)	うち化学由来の N成分量 (kg/10a)	名 称	化学合成農薬 の成分回数 (回)
種子消毒	H30.5.15			温湯消毒	0
	H30.5.16			〃	0
播種	5.20				
	5.22				
土づくり	5.30 麦わらのすき				
	5.30 〃	400	0		
畦畔除草	6.5			刈払機で除草	0
	7.25			〃	0
元肥	6.10 グリーン有機50 (全N8%、化成由来N4.5%)	40	1.8		
	6.9 有機100号	40	0		
移植 (箱施肥)	6.26			グイダットプリンス粒剤6	2
	6.20			〃	2
本田除草	6.28			ヤイバ1kg粒剤	2
	7.1			〃	2
中干し	7.20				
	7.20~7.30				
追肥	8.13 BB464	10	1.4		
	〃	20	2.8		
合計		(使用量基準: 5.5 kg/10a)		(使用回数基準: 11 回)	

実績が計画と同じ場合は、「〃」「同上」等と記入してもよい  
計画していた作業、施肥、防除をしなかった場合は、「-」を記入します

7 普通肥料、化学合成農薬を除く一般的に流通しない資材は、成分内容、特に化学合成(化学処理)の有無、化成由来の成分量が分かる資料を添付します

別紙1

本薬は、使用資材が多く、別紙1の1枚に入りきれない場合に使用します(前頁からの続き)

2 作業及び使用資材(1 申請した時に複写したものを利用する等して、実績を整理します(2はほ場毎に作成してください。))  
 資材名は略称ではない(2は記載して記入する場合は同欄に併せて記入してください。)

生産ほ場番号:		使 用 資 材			
作 業 名 等 (栽培期間の主な作業)		土 づ く り ・ 施 肥		雑 草 ・ 病 害 虫 防 除 等	
2 実績は下段に記入します(上段は計画欄)		3 実績は下段に記入します(上段は計画欄)		化学合成農薬の成分回数(回)	
		(kg/10a)	(kg/10a)		
本田防除	H30.8.23			モンカット粒剤	1
	H30.8.20			アブロードロムダンモンカット粉剤DL	3
本田防除	9.12			Mrジョーカー粉剤DL	1
	9.12			〃	1
収穫	10.10~15				
	10.8~13				
合計		(使用量基準: 5.5 kg/10a)	3.2 2.8	(使用回数基準: 11 回)	6 8

4 合計を記入し、基準以内か、確認します



**1** 申請した時に複写したものを利用する等して、変更箇所を整理します

整理番号	—
認証番号	認-18佐-0001
認証年月日	平成30年10月1日

**2** (林事務所使用欄) 記入します

佐賀県特別栽培農産物認証申請・認証ほ場一覧

申請者氏名(団体名、代表者名)	山田特裁部会部会長 山田 太郎
生産管理責任者氏名	川田 次郎

生産ほ場番号	生産者名	生産者住所	面積(a)	ほ場所在地・地番
1-1	山田太郎	佐賀市城内1-1-1	10.5	佐賀市城内1-1-15
1-2	〃	〃	8.5	佐賀市城内2-1-10
1-3	〃	〃	35.0	佐賀市城内2-1-11
1-4	〃	〃	50.0	
2-1	滝田三郎	佐賀市城内3-1-1	10.0	
2-2	〃	〃	20.0	佐賀市城内2-1-14
3-1-1	新田菅農組合(新田太郎)	佐賀市城内5-1-1	25.0	佐賀市城内2-1-15
3-1-2	〃	〃	20.1	佐賀市城内2-1-16
3-2-1	新田菅農組合(中田太郎)	佐賀市城内6-1-1	25.1	佐賀市城内2-1-17
3-2-2	〃	〃	20.2	佐賀市城内2-1-18
3-2-3	〃	〃	20.3	佐賀市城内2-1-19
3-2-4	〃	〃	20.4	佐賀市城内2-1-20
4-1	〃	〃	〃	〃
5-1	〃	〃	〃	〃
5-2	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
10-1	〃	〃	〃	〃
10-2	〃	〃	〃	〃

**3** 途中で取り止めたほ場には、訂正線を書くなどして、整理します

**4** 団体申請の場合、生産者数合計を記入します

**5** 合計面積を記入します

計			534.9	
	生産者数合計 (団体申請のみ)			9人

※ 認証申請毎に別業に記入すること  
 ※ 米、麦、大豆の場合は、品種毎に別業に記入すること

(別紙様式第9号)

# 佐賀県特別栽培農産物(精米・仕上げ茶)認証実績報告書

1

精米・仕上げ茶の実績報告は、出荷・販売終了後  
30日以内に提出します

平成31年9月30日

佐賀県知事 様  
(佐賀中部 農林事務所長)  
(園芸課長)

認証者 氏名(団体名・代表者氏名)

山田食糧株式会社  
代表取締役 山田太郎



佐賀県特別栽培農産物の認証を受けた下記の農産物について、佐賀県特別栽培農産物認証要綱第16条の規定に基づき、別紙のとおり実績を報告します。

2

精米・仕上げ茶の認証番号(5000番台)を記入します  
※ 原料玄米・荒茶の番号ではありません

1 認証を受けた農作物

<input checked="" type="radio"/> 精米	・	<input type="radio"/> 仕上げ茶
-------------------------------------	---	----------------------------

(いずれかに○印を付ける)

2 認証番号

認証番号	認-18佐-5001
------	------------

3 とう精責任者または製茶責任者

氏名	川田 次郎
----	-------

3

複数のとう精・仕上げ茶の実績報告を添付することができます

4 添付書類

- (1) とう精実績書・・・別紙4、または製茶実績書・・・別紙5
- (2) 佐賀県特別栽培農産物(精米・仕上げ茶)認証申請・認証一覧・・・別紙6

別紙4(原料玄米の品種毎に記入)

1 申請した時に複写したものを利用する等して、実績を整理します

整理番号

(農林事務所・園芸課使用欄)

平成30年度とう精計画書(兼実績書)

精米番号	1	とう精責任者氏名	川田 政郎
生産者名 (団体名)	山田持哉部会	とう精計画確認	平成30年 5月 1日 印
品種名	ヒノヒカリ		平成30年 10月 30日
分類名略号	A・B・C・D	とう精状況確認	平成31年 1月 30日
			平成31年 5月 30日
			平成31年 8月 30日
		とう精実績確認	平成31年 9月 15日 印

2 とう精責任者は、とう精状況を確認した日付を記入します

1 とう精(上段計画、下段実績)

米の購入 購入時期 (年月～年月)	購入時期 購入する玄米購入量 (kg)	とう精時期 (年月～年月)	精米生産数量の包装量目別内訳(認証マーク表示分)					
			量目: 10 kg 数量(個)	量目: 5 kg 数量(個)	量目: 2 kg 数量(個)	計	重量(kg)	重量(kg)
H30年10月 ～H31年10月	4,200	H30年10月 ～H31年10月	180	160	500	840	1,800	3,600
H30.10～ H31.8	4,200	H30.10～ H31.8	160	200	500	860	1,600	3,600

3 実績は下段に記入します(上段は計画欄)

2 出荷・販売(上段計画、下段実績)

出荷販売先	スーパー山田	販売量	3,600kg	認証マーク等の 使用数	大: 840 枚、中: 840 枚、小: 840 枚、包装資材印刷: 枚
	〃		3,600kg		大: 860 枚、中: 860 枚、小: 860 枚、包装資材印刷: 枚

整理番号	—
認証番号	認-18佐-5001
認証年月日	平成30年6月25日 (農林事務所使用欄)



記入します

佐賀県特別栽培農産物(精米・仕上げ茶)認証申請・認証一覧

申請者氏名 (団体名、代表者名)	山田食糧株式会社 代表取締役 山田太郎
とう精(製茶)施設の所在地	佐賀市城内6丁目6番6号
とう精(製茶)責任者氏名	川田 次郎

精米(仕上げ茶)番号	玄米(荒茶)の生産者名(団体名)	特別栽培農産物の分類名略号	玄米(荒茶)の購入量(kg)	精米(仕上げ茶)の生産量(kg)	玄米の品種名(精米のみ)	年産	使用する認証マーク等の数量(枚)
1	山田特裁部会	D	4,200	3,600	ヒノヒカリ	30	860
計			4,200	3,600			860

佐賀中部農林事務所長 様

申請者 氏名(団体名・代表者氏名)

山田特裁部会  
部会長 山田 太郎

生産管理責任者氏名

川田 次郎



1

生産管理責任者が生産農家等への指導や現地確認の状況について記載します。現地確認を行わない年に当たっては本報告書を提出します

### 生産管理指導記録報告書

下記の農産物に、生産農家等への指導及び現地確認等の状況について、下記のとおり報告します。

2

農産物の品目名と作型等を記入します(米・麦・大豆では、品種名を括弧書きします)

1 申請農産物名

対象農産物		特別栽培農産物の分類名略号
品目名	作型等	(いずれかに○印)
米	普通期 (ヒノヒカリ)	A ・ B ・ C ・ <b>D</b>

2 指導及び確認の状況

項目	確認の内容	確認欄	備考
①栽培管理計画	<p>&lt;申請前に、栽培管理計画書を見て確認&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>化学肥料、化学合成農薬の計画は、認証基準を満たしている。</li> <li>化学肥料、化学合成農薬を削減するための技術が導入され、適切な作業計画がたてられている。</li> <li>遺伝子組み換え技術により育成された品種は使っていない。</li> </ul>	適・否	
②生育状況	<p>3 生産管理責任者が各項目の確認後、適正であることを確認した場合は「適」に○をつけます。適正でない判断される場合は「否」に○をつけてください</p>	適・否	
③ほ場設定状況	<p>&lt;現地ほ場と認証申請一覧を見て確認&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象となるほ場の位置や面積は、申請どおりである(変更の場合は手続きがされている)。</li> </ul>	適・否	
	<p>&lt;現地ほ場を見て確認&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地形、水系、周辺ほ場等の状況により、他で使用した農薬等資材の混入や飛来の恐れはない。</li> </ul>	適・否	
	<p>&lt;聞き取りにより確認&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>航空防除による農薬等が飛</li> </ul> <p>4 確認時の留意点があれば備考欄に記入してください</p>	適・否	
④生産・栽培管理及び記録状況	<p>&lt;資材の購入・使用簿を見て確認&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>化学肥料、化学合成農薬を削減するための技術が実践されている。</li> <li>化学肥料由来の窒素成分量及び化学合成農薬の使用成分回数は、認証基準を満たしている(栽培終了まで満たす見込みである)。</li> </ul>	適・否	ウンカの発生が多いため、農薬の成分回数が増えたが、基準は満たしている
	<p>&lt;聞き取りによる確認&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他で使用する農薬等との混合防止措置(清掃・洗浄等)が図られている。</li> </ul>	適・否	
⑤出荷・販売時の区分管理状況	<p>&lt;出荷までの保管方法を聞き取りにより確認&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>収穫から出荷の際、慣行栽培分との混合防止措置が図られている(図られる)</li> </ul>	適・否	
	<p>5 収穫開始前の現地確認に代わる審査の場合は、「⑥栽培管理実績書」については記入の必要はありません</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>認証シール(マークを付けた包装資材)使用記録簿及び出荷記録簿が作成されている。また、認証分のみ貼付する措置がとられている。</li> </ul>	適・否	
⑥栽培管理実績書	<p>&lt;栽培管理実績書を見て確認&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>栽培期間終了時点において、化学肥料由来の窒素成分量及び化学合成農薬の使用成分回数は、認証基準を満たしている。</li> <li>生産量及び出荷量に対し、認証シール使用量は適切である。</li> </ul> <p>6 ①～⑥以外に生産管理責任者が生産農家に指導、確認を行った場合は記入してください</p>	適・否	
⑦その他		適・否	「否」がある場合は審査の結果、認証されない場合があります

3 申請ほ場の指導及び確認の詳細...別紙

佐賀県特別栽培農産物認証申請に係る各ほ場の管理状況の確認

1 別紙様式第10号の生産管理指導記録報告書に添付して提出します  
生産管理責任者と申請者が記名、押印後に提出します

佐賀県特別栽培農産物認証申請に係る各ほ場の管理状況について、下記のとおり確認を実施しました。

平成30年9月20日

申請者 氏名(団体名・代表者氏名)

山田持哉部会 部会長 山田太郎

川田 次郎

2 別紙2の「ほ場一覧」に記載した圃場番号、生産者名等を転記してください

3 各ほ場で化学肥料が基準を満たしている場合は○をつけてください

4 各ほ場で化学合成農薬が基準を満たしている場合は○をつけてください

5 各ほ場で化学肥料、化学合成農薬以外の管理(別様式第10号の①～④を参照)が適正に行われている場合は○をつけてください

生産ほ場番号	生産者名	生産者住所	面積(a)	ほ場所在地・地番	化学肥料の低減状況	化学合成農薬の低減状況	その他の管理状況	備考
1-1	山田太郎	佐賀市内1-1-1	10.5	佐賀市内1-1-15	○	○	○	
1-2	"	"	8.5	佐賀市内2-1-10	○	○	○	
1-3	"	"	35.0	佐賀市内2-1-11	○	○	○	
1-4	"	"	50.0	佐賀市内2-1-12	○	○	○	
2-1	"	"	20.0	佐賀市内2-1-13	○	○	○	
2-2	"	"	20.0	佐賀市内2-1-14	○	○	○	取り下げ
3-1-1	新田学真組合 (新田太郎)	佐賀市内5-1-1	25.0	佐賀市内2-1-15	○	○	○	取り下げ
3-1-2	"	"	20.1	佐賀市内2-1-16	○	○	○	
3-2-1	新田学真組合 (中田太郎)	佐賀市内6-1-1	25.1	佐賀市内2-1-17	○	○	○	
3-2-2	"	"	20.2	佐賀市内2-1-18	○	○	○	
3-2-3	"	"	20.3	佐賀市内2-1-19	○	○	○	
3-2-4	"	"	20.4	佐賀市内2-1-20	○	○	○	取り下げ等以外で、○が付かないほ場がある場合は、審査の結果、認証されない場合があります

6 途中で取り止めたほ場には、訂正線を書くなどして、整理します

※ 認証申請毎に別葉に記入すること。また、米、麦、大豆の場合は、品種毎に別葉に別葉に記入すること。  
 ※ 化学肥料と化学合成農薬の低減、およびその他の栽培管理等が適切に行われていることが確認できた場合は「化学肥料の低減状況」、「化学合成農薬の低減状況」、「その他の管理状況」にそれぞれ○をつける。(団体等の既定の様式で、上記と同様の内容が記載されており、申請者と生産管理責任者の氏名が付記並びに押印されているものであれば、これに代えることができる)

(別紙様式第11号)

## 県慣行レベルの追加設定要望票

普及センター名: \_\_\_\_\_

### 1 追加設定要望

1) 品目名: \_\_\_\_\_

2) 作型等: \_\_\_\_\_

※年間の作付体系(播種、定植、収穫)、生育期間等について、記述をお願いします

(別紙様式第12号)

## 病虫害防除及び施肥体系に係る実態調査票

( 年度分)

調査機関名: \_\_\_\_\_

1. 作物名 (品種名)

2. 作型 ( 年 月 ~ 年 月)

3. 病虫害防除実績

	散布時期	対象病虫害名	薬剤名	成分回数	備考
育苗期					
本圃準備期					
本圃期					
合計					

注1) 前作の収穫後から当該農産物の収穫までの期間について記入する。

2) 野菜については別表の作型を参照してください。また、育苗期、圃場準備期、本圃期に分けて記入する。

3) 混用する場合は使用する薬剤名を全て記載する。

4) 種子消毒を含む。

5) 地区の防除暦等を参考に記入してください。



4. 土作り・施肥実績

目的	施用月日	名称	使用量 (kg/10a)	全窒素量(kg/10a) 【うち化学肥料由来の N量(kg/10a)】	備考
土づくり					
元肥					
追肥					
その他					
合計					

※ 圃場準備期に行う土作りのためのN成分(例えば、わらをすきこむ際の窒素添加量など)も化学肥料使用量のカウント対象とする。

※ 備考には、特記事項があれば記入する。

(別紙様式第13号)

## 産地慣行レベルに係る変化報告票

普及センター名：  

---

### 1 対象

(1)品目名：

(2)作型等：

### 3 産地での慣行レベル

(1)化学合成農薬の成分回数： 回

(2)化学肥料の使用量： kg/10a

※ 根拠となる「病害虫防除及び施肥体系にかかる実態調査票・別紙様式第12号」を添付

### 4 慣行レベルの変化の理由

(1)病害虫発生低減装置・資材の普及

(2)新技術の普及

(3)栽培方法の変更

(4)主要品種の変更

(5)新たな難防除病害虫の発生

(6)その他

(別紙様式第14号)

# 精米・仕上げ茶の製造工程に係る報告書

1

認証申請を継続している方で、現地確認審査を行わない年は、本報告書を求めることとしています

30年10月10日

佐賀県知事 様  
(佐賀中部農林事務所長)  
(園芸課長)

2

とう精(製茶)開始のおおむね2週間前までに提出します

3

申請者ととう精(製茶)責任者の両方の名前を記入し、押印します

申請者 氏名(団体名・代表者氏名)

山田食糧株式会社

代表取締役 山田 太郎

山田食糧

とう精(製茶)責任者氏名

川田 次郎

川田

このことについて、佐賀県特別栽培農産物認証要領別記8に基づき、下記のとおり報告します。なお、施設等を変更する場合は、速やかに連絡することを申し添えます。

4

各項目毎に、適正な場合には○印を付けます

確認項目		チェック欄 (適正な場合は○印を付ける)
玄米(荒茶)の確保	① 計画どおり、佐賀県特別栽培農産物の認証を受けた玄米(荒茶)の購入ができる見込みである	○
とう精(製茶)施設での混入防止対策	② 原料保管方法・場所の変更がない	○
	③ 選別、調整ラインの変更がない	○
	④ 袋詰めラインの変更がない	○
	⑤ 製品保管方法・場所の変更がない	○
記録簿の整備による管理	⑥ 原料の購入状況を記録している	○
	⑦ とう精又は製茶状況を記録している	○
	⑧ 袋詰め状況を記録している	○
	とう精(製茶)施設の変更などがある場合は、現地確認をする必要があります	○
	た包装資	○
	材/使用状況を記録している	○

5

(別紙様式第15号)

※認証農産物毎に記入

整理番号	—
認証番号	認- —
認証年月日	

(農林事務所使用欄)

## 佐賀県特別栽培農産物出荷・販売計画書

平成30年 5月 10日

佐賀県知事 様

(佐賀中部 農林事務所長)

申請者 氏名(団体名・代表者氏名)

山田特裁部会  
部会長 山田 太郎

印

生産管理責任者 氏名

川田 次郎

印

佐賀県特別栽培農産物認証要領第4条の規定に基づき、下記のとおり出荷・販売計画書を提出します。なお、出荷及び販売に当たっては、佐賀県特別栽培農産物認証要綱及び同要領を遵守します。

### 記

1 申請農産物名 **2** 農産物の品目名と作型等を記入します(米・麦・大豆では、品種名を括弧書きします)

対象農産物		特別栽培農産物の 分類名略号 (いずれかに○印)
品目名	作型等	
米	普通期 (ヒノヒカリ)	A ・ B ・ C ・ <b>D</b>

※ 米、麦、大豆の場合は、作型等の欄に品種名も記入する

2 出荷数量(単位)

**3** 荷の重さが分かるように記入します

**4** マークの使用数は、サイズごとに記入します

収穫量	6,100 kg	出荷・販売量	6,100 kg
出荷規格	30kg紙袋、500kgフレコン		
主な出荷販売先	(株) 山田食糧	販売期間	30年10月~31年10月
認証マーク等の 使用数	大: 5枚 中: 120枚 小: 枚	包装資材印刷:	枚

(別紙様式第16号)

※認証農産物毎に記入

## 佐賀県特別栽培農産物出荷・販売実績書

平成31年 11月 30日

佐賀県知事 様

(佐賀中部 農林事務所長)

申請者 氏名(団体名・代表者氏名)

山田特裁部会  
部会長 山田 太郎



生産管理責任者 氏名

川田 次郎



1

生産管理責任者と申請者が記名、  
押印後に提出します

佐賀県特別栽培農産物認証要領第13条の規定に基づき、下記のとおり出荷・販売実績書を提出します。

### 記

#### 1 申請農産物名

対象農産物		特別栽培農産物の 分類名略号 (いずれかに○印)
品目名	作型等	
米	普通期 (ヒノヒカリ)	A ・ B ・ C ・ <b>○D</b>

2 米 麦 大豆の場合は 作型等の欄に品種名も記入する

団体申請の場合、収穫量や認証マーク等の使用数は、構成員の合計数を一枚にまとめて記入します。  
生産者毎に栽培管理実績書を作成した場合も、生産者毎に収穫量や認証マーク等の使用数を記入する必要はありません。

#### 2 出荷・販売実績

認証番号	認-18佐-5001	認証年月日	平成30年10月1日
収穫量	7,000 kg	出荷・販売量	7,000 kg
出荷規格	30kg紙袋、500kgフレコン		
主な出荷販売先	(株) 山田食糧	販売期間	30年10月~31年11月
認証マーク等の 使用数	大: 5枚 中: 90枚 小: 枚 包装資材印刷: 枚		

(参考様式)

申請者 氏名 山田特裁部会部長 山田太郎

生産管理責任者チエック 川田 次郎

○資材の購入・使用簿(肥料)

1. 購入量等

年月日	摘要	肥料の購入量等(それぞれに単位を記入する)		備考
		BB464	BB602	
前作より繰越	繰越	60kg	0kg	
H30.6.1	購入	200kg		
H30.7.1	購入		100kg	
合計		260kg	100kg	

2. 使用量

年月日	目的	肥料の使用量(それぞれに単位を記入する)		使用ほ場		備考
		BB464	BB602	特裁	一般	
H30.6.15	元肥	100kg		○		
H30.6.15	元肥	60kg			○	
H30.6.18	元肥	50kg		○		
H30.8.15	追肥(穂肥)		50kg	○		
H30.8.15	追肥(穂肥)		30kg		○	

3. 残量

残量	50kg	20kg
----	------	------

(参考様式)

申請者 氏名 山田特栽培部会長 山田太郎

生産管理責任者 川田 次郎

○資材の購入・使用簿(農薬)

1. 購入量等

	年月日	摘要	農薬の購入量等(それぞれに単位を記入する)					備考
			ラウンドアップハイロード	テクリードフロアブル	ホームラン1kg粒剤	アプロードパッサ粉剤		
購入等	前作より繰越	繰越	250ml	500ml	2kg	12kg		
	H30.5.1	購入	250ml					
	H30.5.1	購入						
	H30.6.1	購入			6kg			
	H30.6.1	購入				15kg		
合計			500ml	500ml	8kg	27kg		

2. 使用量

	年月日	目的	農薬の使用量(それぞれに単位を記入する)					使用ほ場		備考
			ラウンドアップハイロード	テクリードフロアブル	ホームラン1kg粒剤	アプロードパッサ粉剤		特裁	一般	
施用経過	H30.5.25	種子消毒		800ml					○	
	H30.6.15	畦畔除草	200ml					○		
	H30.6.18	畦畔除草	200ml						○	
	H30.6.25	田植え箱施用			5kg				○	
	H30.8.10	畦畔除草	100ml							○
	H30.8.15	本田防除					15kg		○	
H30.8.20	本田防除					8kg			○	

3. 残量

残量	0ml	200ml	3kg	4kg
----	-----	-------	-----	-----